

第 15 回関西建築家大賞 審査講評

審査建築家 古谷誠章

第 15 回関西建築家大賞受賞者 大江一夫 氏

選考理由：西宮市を中心に長年にわたり数多くの住宅の設計を行い、いずれも立地の特性や周辺環境との綿密な応答など、地元根付く作者自身の深くきめ細かい視点に立って数多くの成熟した作品を作り上げている。こうした機知に富んだ地形との対話の作法は、師匠である故石井修氏の目神山における一連の住宅からの薫陶を強く受けたものであり、住宅それぞれに異なるクライアントとの対話を含めて、柔軟でより豊かな建築の発想へと昇華させている点は容易に達成しうるものではなく、大江さんに独特のものとして大いに賞賛されるべきものである。

関西という土地柄を考えると、いわばよそ者である私自身にはそこに醸成された風土は必ずしも十分に理解している訳ではないが、それでもなおある熟成された文化的価値観と、同時に大の大人が洒脱に文化の綾を心底愉しむ気風が感じられ、臨機応変で気品があり、時に無邪気に遊んでみせる大江さんの住宅建築の面白さはその文化的土壌に根ざしたものと思われる。自ら阪神間に長く暮らし、その土地の空気を呼吸し、近隣一体の人々の信頼を得て、次々に仕事を依頼され暮らし続ける建築家像は、まさしく関西建築家大賞に相応しい一つの姿だと考えます。